

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立青谷高等学校

学校長 小 川 勝

評 価 日	平成 30 年 2 月 19 日 (月)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 各項目の経過達成状況、評価について説明し、了解していただいた。 ○生徒指導の充実について ・服装の乱れはなく、青高生の素敵な姿が見られる。 ○確かな学力の定着について ・青谷高校は社会人として活躍できる人間を育てていると思う。「青谷高校に入学して良かったと思いますか」というアンケートに対する肯定的回答が思っていたより低く、残念だ。 ・基礎力診断テストに関する数値目標をもっと高く設定してはどうか。進学実績が上がるようにしてほしい。 ○地域との連携について ・地域の保育園や小学校と連携した取組や、地域行事(あおいち)でのボランティア等、地域と連携したよい取組をたくさんされている。 (2) 説明・公表について 3 月末までに学校ホームページに掲載し、公表する。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ○ICTを活用した学力向上 ICTを活用した授業の実践、各種研修や先進校視察の実施等について説明し、本校の取組を理解していただいた。 ・ICTの活用については小・中学校も高校と同じなので連携できるのではないかと。高校の授業を参観させてほしい。 ○青谷学、ボランティア等による地域との連携 地域外部人財を活用した青谷学の実施状況、青谷小学校と連携した取組やすくすく保育園でのボラ		・数値目標については、少し頑張ったら達成できると思えるレベルに設定している。次年度に向け、自己評価に関するすべての数値目標の妥当性等を検証し、見直しも含め検討したい。 ・H30年度からICT活用教育の重点校となる。小・中学校との連携した取組も検討したい。

ンティア活動等について説明し、本校の取組を理解していただいた。

- ・良い取組をたくさんされているが、今日説明を聞いて初めて知ったこともあるので、もっとアピールすべきだ。

・H30年度から地域連携の重点校となる。青谷学や課題探究の成果の発表や、地域美化活動の実施など、地域の人に見える形の活動を増やし、アピールしていきたい。

3. 取組改善のための提言

○地域連携では、地元の人にわかる、目に見える形の活動を充実させるべきだ。

○ボランティア活動の活性化について

- ・ボランティアに参加した生徒による生徒への報告会を実施して、生徒の興味関心、やる気を高めてはどうか。
- ・「部」単位で参加する等、ボランティアの募集方法を工夫して、参加しやすくしてはどうか。

・多くの生徒がボランティアに参加するよう、提言いただいたことなどを参考に、ボランティアへの関心・意欲を高める方法や募集方法を工夫していきたい。